

夏期における 水難 山岳遭難

の防止

夏期における水難防止

福井県警察

水難防止チェックポイント !!

- お酒を飲んだ状態で泳がない。
- 体調が悪い状態で泳がない。
- 子供から目を離さない。
- 魚釣り中、救命胴衣を着用する。
- 水上バイクでの暴走（迷惑）行為は行わない。



<野生イルカに注意>
・咬まれる事案が多発
・目撃したら近づかない

楽しむための注意事項

- ◎ 保護者の方へ
 - ・子供を危険な場所へは行かせない
 - ・水の流れ、深さ、水温などの事前確認を
- ◎ 釣りをされる方へ
 - ・釣り場に着いたら足場の点検を
- ◎ プレジャーボート操縦者の方へ
 - ・遊泳者等の付近では航行しない

万が一、事故に遭った場合は？

- ◎ 通報先～110番 or 119番 or 118番
- ◎ 報告事項
 - ・発生時間、場所（可能な限り、具体的に）
 - ・事故者の人数
 - ・事故時の行為（遊泳中、水遊び中等）
 - ・事故者の容体（怪我の程度等）
 - ・事故者の住所、氏名、年齢、連絡先等

夏期における山岳遭難防止

福井県警察

- 登山計画は、無理のない「余裕のある計画」を立てましょう。
- テレビ、ラジオなどで事前に「気象情報」を把握しましょう。
- 地図、非常食、雨具等の「装備の準備」をしましょう。
- 「携帯電話」等で「自分の位置情報を確認」しましょう。
- 「単独」での入山はやめましょう。
- 下山中の「道迷い、転落、滑落」に注意しましょう。
- 荒天時又は危険を感じたら、「無理をせず下山する」ことを考えましょう。
- 日没前に「帰宅」できるよう時間配分に心掛けましょう。



<夏季は体調管理が必須>
・休憩の時間配分（余力を残す）
・水分と塩分補給（熱中症対策）

登山7A7B有効

万が一、遭難した場合は？

- ◎ 通報先～110番 or 119番
- ・発生時間
- ・発生場所（可能な限り、具体的に）
- ・遭難者の人数
- ・遭難の原因（道迷い、滑落、転倒等）
- ・遭難者の容体（怪我の程度）
- ・遭難者の住所、氏名、連絡先等

登山計画書の提出先は？

登山計画書は、あなたの生命を守る命綱です。安心して登山していただくために、計画書の提出をお願いします。提出先は、警察本部又は山域を管轄する警察署に提出して下さい。

QRコードを読み取り
簡単アクセス!!



例年この時期は、水や山での事故が多く発生しています。

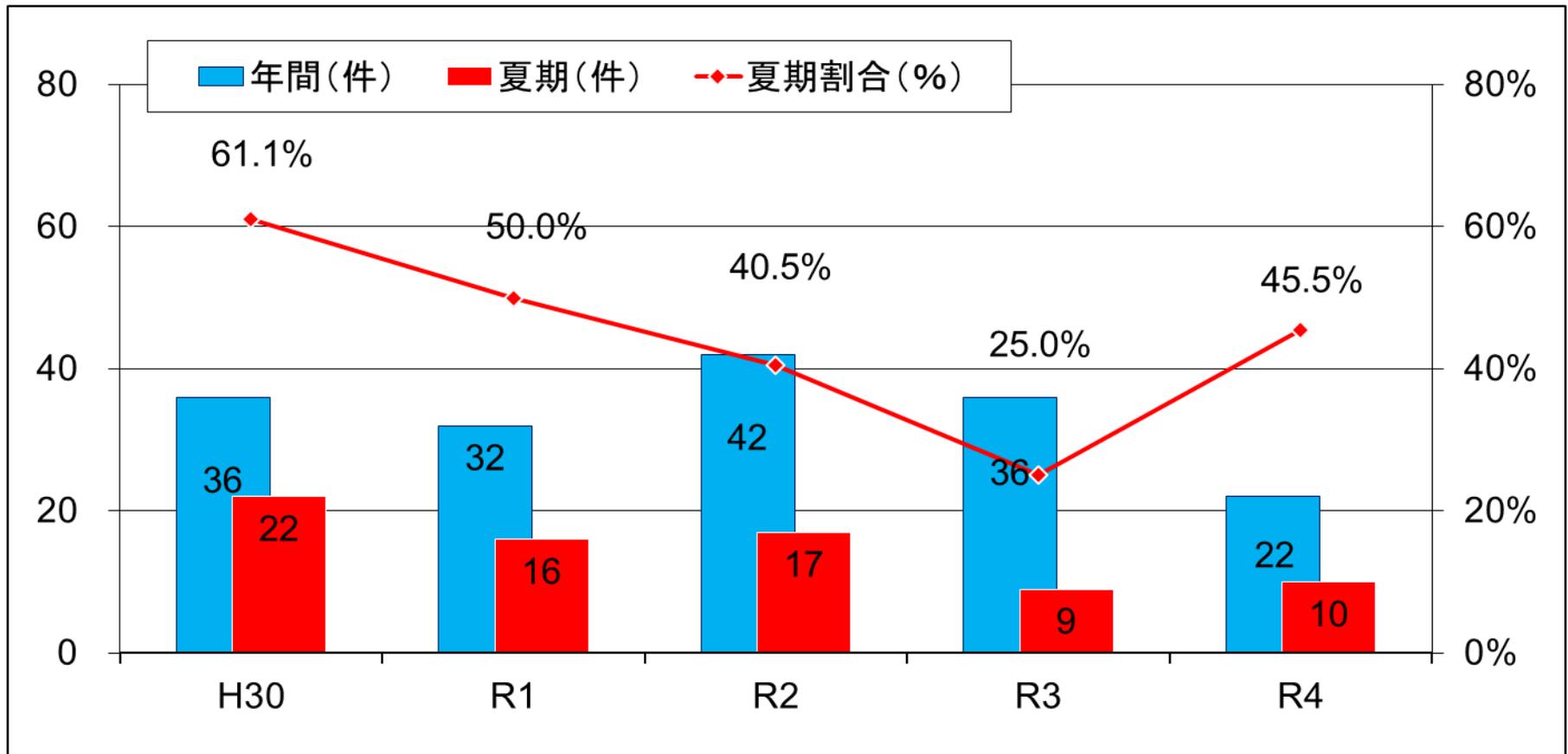
少しの油断が大きな事故につながりますので、十分な事前準備を行い、福井県の夏を過ごしてください。

水難発生状況(過去5年間)

例年、夏期(7月～8月)において、水による事故が数多く発生しています。
過去の発生状況、原因、注意事項を参考に、事故に遭わないよう注意してください。

< 夏期における主な水難の原因 >

飲酒、保護者の監視不足、体調不良、釣り中のバランス崩しなど



水難を防止するために

◎ 遊泳される皆さんへ

- ・ 「寝不足、お酒を飲んだ状態では、泳がない」こと。
- ・ 体調がよくないと感じたときは、「無理をしない」こと。
- ・ 浮き輪などは使用する前に、点検すること。
- ・ 泳ぐときは、「流れ、深さ、水温等を確認」すること。



◎ 保護者及び地域の皆さんへ

- ・ 子供から絶対に目を離さないこと。
- ・ 日頃から、子どもに水の怖さを教え、危険な場所へ行かせないこと。
- ・ 危険な場所に、柵・立て看板などの安全措置を講ずること。

※ 海でのワンポイント対処方法

- ・ 離岸流に流された場合の対処は？
慌てず、岸と平行に泳ぎ、流れから抜け出せたら、岸に向かって泳いで下さい。

※ 川でのワンポイント対処方法

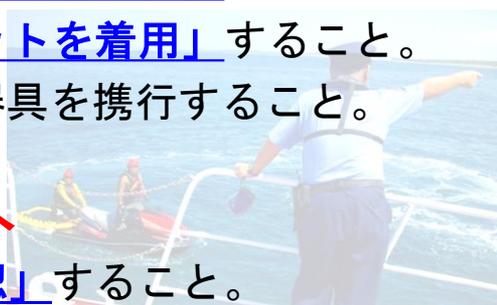
- ・ 増水等により流された場合の対処は？
慌てず、下流の岸に向かって泳いで下さい。



水難を防止するために

◎ 魚釣りをする皆さんへ

- ・ 出発前には、必ず「気象情報を確認」すること。
- ・ 釣り場に着了いたら「足場や水流の勢いを点検」すること。
- ・ 万が一のために、「ライフジャケットを着用」すること。
- ・ 漁港の防波堤での夜釣りは、照明器具を携行すること。



野生イルカにご用心!!

野生イルカに咬まれ海中に引きずり込まれる被害が相次いで発生。

目撃したら…

- * 近づかない
- * 触れない
- * 海から上がる



◎ プレジャーボート利用の皆さんへ

- ・ 出発前には、必ず「気象情報を確認」すること。
- ・ 「遊泳区域へは進入しない」、「遊泳者等の付近での航行はしない」こと。
- ・ 遊泳者に危害を及ぼさないような「安全な速度と方法で航行」すること。
- ・ 事故等が発生した場合は、「速やかに届ける」こと。

過去に、他県で水上バイクの暴走行為により重大事故が発生しています。

※ 事故が発生した場合の措置

- 要救助者に対する救護（心肺蘇生等）
- 110番（警察）119番（消防）118番（海上保安）への通報
 - ⇒ 位置情報から要救助者の居場所を確認し救助活動に活用

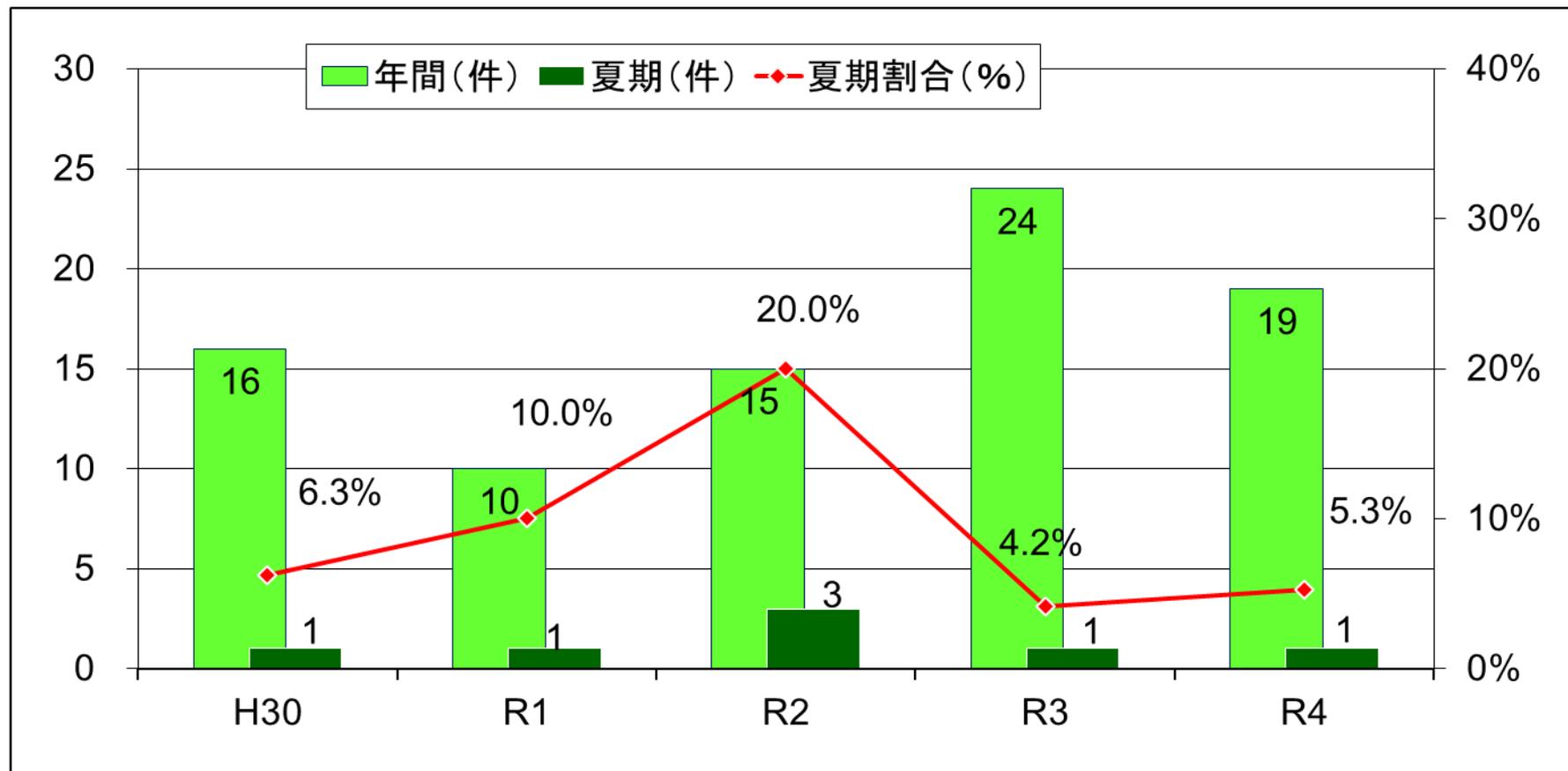
山岳遭難発生状況（過去5年間）

例年、夏期（7月～8月）において、遭難事故が数多く発生しています。

過去の発生状況、原因、注意事項を参考に、事故に遭わないよう注意してください。

< 夏期における主な山岳遭難の原因 >

道迷い、滑落、転落、体調不良（脱水、疲労）、天候悪化など



山岳遭難を防止するために

◎ 計画から下山まで!!

- ・ 無理のない「**余裕のある登山計画**」を立てること。
 - ⇒ 登山計画書の提出先は、家族や警察などへ
- ・ テレビ、ラジオなどで事前に最新の「**気象情報**」を把握すること。
- ・ 水、食料、雨具、着替え、ライトなど「**必要装備の準備**」をすること。
- ・ 「**携帯電話等**」で「自分の位置情報を確認」すること。
- ・ 「**単独**」での入山は、できるだけやめること。
- ・ 下山中の「**道迷い、転滑落、落石**」に注意すること。
- ・ 荒天時又は危険を感じたら、「**無理をせず下山する**」ことを考えること。
- ・ 「**日没前に帰宅**」できるよう時間配分に心掛けること。



登山用アプリ等を活用すると安心感が増しますよ



※ ワンポイント登山（夏山は、特に体調管理が重要です。）

・ 休憩の時間配分は？

30分歩いたら5分、50分歩いたら5～10分の小休止を心掛けること。

* 登りに1/3、下りに1/3、余力を常に1/3残して行動を!!

・ 水分の補給方法は？

喉が渴いたら、適度に数回に分けて、水を飲んで疲労回復を図ること。

～ 確認3原則（帯同装備、山と気象情報、自己体力） ～

山岳遭難を防止するために

◎ 登山計画書の提出先は？

- ・ 警察本部(地域課)又は、山域を管轄する警察署(交番・駐在所)へ
- ・ ご家族にも連絡を忘れずに

県警HPから



◎ 登山計画書の提出方法は？

- ・ 携帯電話(スマートフォン) → QRコードからの届出
- ・ パソコン → インターネットからの届出
- ・ 郵送又はFAX(0776-25-0347)による届出

山岳ガイド協会「コンパス」から



◎ 登山をする前に？

- ・ 『山岳遭難防止マニュアル』の活用を(県警ホームページ)
登山の基本的技術、危急時の対策、遭難事故にあった時
県内主要の21の山岳マップなどが掲載

※ 事故が発生した場合の措置

- 要救助者に対する救護(安全な場所への移動、応急措置等)
- 110番(警察) 119番(消防)への通報

⇒ 位置情報から要救助者の居場所を確認し救助活動に活用

